



あきらめるな!!!!

センター英語平均点 119点。全体に難しく、総合点を昨年度と比較すると、文型で10~15点、理系で30~35点低くなりました。全国の受験生が弱気になっているといえます。勝負の分かれ道は、『気持ち』。二次で挽回できますので、あきらめずにチャレンジしましょう。

例えば 大阪大学の外国語学部は、センターランクで82%ですが、

合格者最低点は 328/650点(センター150+二次500) 昨年度資料より

	市大・法	市大・看	京府立	大府・経	大阪・看	大阪・人	京教育	神戸外
センターランク	79%	74%	78%	72%	83%	84%	69%	81%
合格者最低点	699/1000	468/750	672/1000	430/700	837/1200	867/1200	801/1300	465/600
比率(セ:二次)	600:400	450:300	600:400	350:350	800:400	600:600	900:400	400:200

二次の力があれば、絶対挽回できるところがたくさんあるのが分かりますよね。

二次対策で何をするか(講習に参加しない人は)

今までにやった長文問題を再度やり直す。

和訳は、readingの教科書の文構造の難しい英文を日本語にし、先生に添削してもらう。

英作は、2年の教科書をやり直すか、超基本パターン33書ける英作文などを解き、先生に添削してもらう。

私立対策は何をするか

関関同立は、入試問題分析プリントを英語科のプリントステーションに置いてあります。大学にあわせてやり方を変えなければなりません。今からすべきことは、単語と文法語法と長文の内容一致。新しい問題に取り組むより、今までにやった問題をやりましょう。忘れてはいけないのは、設問から問題を解くこと。

最後に、3年間の英語の授業を思い出して、役に立ったとか、これは、いまいちだったなどの感想がある人は、切り取り線以下をアンケートいれに投入してください。

英語の授業についての感想

1年

2年

3年